



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 文化シャッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <http://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 潮崎 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日

2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	83,528	14.6	2,935	71.4	2,674	54.0	1,570	68.2
2019年3月期第2四半期	72,890	6.4	1,712	12.7	1,736	9.4	934	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,259百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 248百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	21.91	19.30
2019年3月期第2四半期	13.03	12.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	161,512	74,106	45.8
2019年3月期	162,085	74,179	45.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 73,956百万円 2019年3月期 74,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		15.00	25.00
2020年3月期		12.50			
2020年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	8.8	11,000	12.2	11,500	6.5	7,600	4.2	106.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	72,196,487 株	2019年3月期	72,196,487 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	503,216 株	2019年3月期	503,081 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	71,693,348 株	2019年3月期2Q	71,693,455 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年11月28日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済においては、米中貿易摩擦の影響や中東情勢の緊張の高まり、欧州における英国のEU離脱問題等により不確実性が増しており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、83,528百万円（前年同四半期比14.6%増）となり、利益面におきましても、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は2,935百万円（前年同四半期比71.4%増）、経常利益は2,674百万円（前年同四半期比54.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても1,570百万円（前年同四半期比68.2%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

大型物流倉庫及び大型商業施設向け重量シャッター等が堅調に推移しましたので、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,245百万円（前年同四半期比18.3%増）となり、営業利益は2,733百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

2. 建材関連製品事業

オフィスビル及び大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移しましたので、当第2四半期連結累計期間の売上高は34,571百万円（前年同四半期比8.9%増）となり、営業利益は22百万円（前年同四半期は営業損失78百万円）となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が好調に推移しましたので、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,193百万円（前年同四半期比13.3%増）となり、営業利益は1,723百万円（前年同四半期比61.5%増）となりました。

4. リフォーム事業

ストック市場への取り組みとして、ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しており、連結子会社B X ゆとりフォーム株式会社を中心に、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,853百万円（前年同四半期比25.0%増）となり、営業利益は86百万円（前年同四半期は営業損失53百万円）となりました。

5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨や集中豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業が堅調に推移しましたので、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,665百万円（前年同四半期比49.5%増）となり、営業利益は299百万円（前年同四半期比188.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は161,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ573百万円減少しました。流動資産は91,187百万円となり、2,112百万円減少しました。これは、商品及び製品が増加(3,841百万円)、流動資産のその他が増加(1,329百万円)、原材料及び貯蔵品が増加(582百万円)、現金及び預金が増加(501百万円)した一方で、受取手形及び売掛金が減少(8,563百万円)したことが主な要因であります。固定資産は70,324百万円となり、1,539百万円増加しました。これは、投資有価証券が減少(485百万円)した一方で、有形固定資産のその他が増加(2,049百万円)したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は87,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ500百万円減少しました。流動負債は53,400百万円となり、1,558百万円減少しました。これは、流動負債のその他が増加(1,807百万円)した一方で、未払法人税等が減少(1,626百万円)、支払手形及び買掛金が減少(1,364百万円)、短期借入金が減少(511百万円)したことが主な要因であります。固定負債は34,004百万円となり、1,058百万円増加しました。これは、長期借入金が減少(626百万円)した一方で、固定負債のその他が増加(1,569百万円)したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は74,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(1,570百万円)により増加した一方で、配当金の支払い(1,075百万円)、為替換算調整勘定が減少(113百万円)、その他有価証券評価差額金が減少(110百万円)したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、23,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ474百万円(2.1%)増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は5,077百万円(前年同四半期比19.8%減)となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額8,679百万円、税金等調整前四半期純利益2,780百万円、減価償却費1,706百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額4,520百万円、法人税等の支払額2,784百万円、仕入債務の減少額1,359百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,997百万円(前年同四半期比40.4%減)となりました。収入の主な内訳は、貸付金の回収による収入65百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出897百万円、無形固定資産の取得による支出665百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出458百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は2,651百万円(前年同四半期比312.6%増)となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出1,143百万円、配当金の支払額1,075百万円、リース債務の返済による支出420百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,308	24,810
受取手形及び売掛金	46,356	37,792
商品及び製品	13,652	17,494
仕掛品	1,083	1,282
原材料及び貯蔵品	4,161	4,743
その他	3,835	5,165
貸倒引当金	△98	△100
流動資産合計	93,300	91,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,405	11,234
土地	12,321	12,462
その他(純額)	7,006	9,055
有形固定資産合計	30,733	32,753
無形固定資産		
のれん	5,246	4,960
その他	5,089	5,341
無形固定資産合計	10,335	10,302
投資その他の資産		
投資有価証券	18,301	17,815
退職給付に係る資産	1,765	1,776
その他	7,970	8,032
貸倒引当金	△321	△355
投資その他の資産合計	27,715	27,268
固定資産合計	68,784	70,324
資産合計	162,085	161,512

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,363	31,998
短期借入金	3,556	3,044
未払法人税等	2,660	1,034
賞与引当金	3,336	3,371
役員賞与引当金	123	87
工事損失引当金	116	254
その他	11,801	13,609
流動負債合計	54,959	53,400
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	1,268	641
役員退職慰労引当金	369	347
退職給付に係る負債	18,881	19,019
資産除去債務	52	53
その他	2,374	3,943
固定負債合計	32,946	34,004
負債合計	87,905	87,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,298	12,304
利益剰余金	43,105	43,354
自己株式	△156	△156
株主資本合計	70,298	70,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,250	4,140
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	△76	△76
為替換算調整勘定	△604	△718
退職給付に係る調整累計額	150	57
その他の包括利益累計額合計	3,720	3,402
非支配株主持分	160	150
純資産合計	74,179	74,106
負債純資産合計	162,085	161,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	72,890	83,528
売上原価	53,711	61,686
売上総利益	19,179	21,842
販売費及び一般管理費	17,467	18,906
営業利益	1,712	2,935
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	174	185
受取賃貸料	38	40
その他	157	76
営業外収益合計	381	315
営業外費用		
支払利息	38	83
持分法による投資損失	166	164
為替差損	—	277
その他	152	50
営業外費用合計	357	577
経常利益	1,736	2,674
特別利益		
固定資産売却益	0	2
負ののれん発生益	43	—
段階取得に係る差益	57	—
抱合せ株式消滅差益	—	126
特別利益合計	100	129
特別損失		
固定資産売却損	1	5
固定資産除却損	1	17
特別損失合計	3	23
税金等調整前四半期純利益	1,834	2,780
法人税等	899	1,203
四半期純利益	934	1,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	934	1,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	934	1,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△583	△120
為替換算調整勘定	△481	△28
退職給付に係る調整額	△43	△111
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	△55
その他の包括利益合計	△1,182	△317
四半期包括利益	△248	1,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△248	1,253
非支配株主に係る四半期包括利益	—	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,834	2,780
減価償却費	1,390	1,706
のれん償却額	423	457
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39	37
賞与引当金の増減額(△は減少)	△287	32
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△78	△35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14	△23
受取利息及び受取配当金	△185	△198
支払利息	38	83
固定資産処分損益(△は益)	2	20
持分法による投資損益(△は益)	166	164
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	△126
負ののれん発生益	△43	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△57	—
売上債権の増減額(△は増加)	12,044	8,679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,735	△4,520
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,352	△1,359
その他	43	3
小計	7,149	7,702
利息及び配当金の受取額	229	242
利息の支払額	△39	△83
法人税等の支払額	△1,012	△2,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,327	5,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△387	13
有形固定資産の取得による支出	△1,665	△897
有形固定資産の売却による収入	14	11
無形固定資産の取得による支出	△338	△665
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,122	△458
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	156	—
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
貸付けによる支出	△60	△56
貸付金の回収による収入	62	65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,351	△1,997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,502	△0
長期借入金の返済による支出	△1,125	△1,143
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	9,969	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
子会社の自己株式の取得による支出	—	△10
配当金の支払額	△717	△1,075
非支配株主への配当金の支払額	—	△0
リース債務の返済による支出	△266	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△642	△2,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,178	413
現金及び現金同等物の期首残高	18,377	22,620
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	61
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,556	23,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産のその他が1,606百万円増加し、流動負債のその他が338百万円及び固定負債のその他が1,432百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は246百万円減少しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	26,405	31,744	9,876	3,081	71,108	1,782	72,890	—	72,890
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	1,907	20	225	4	2,158	140	2,298	△2,298	—
計	28,313	31,764	10,102	3,086	73,266	1,922	75,189	△2,298	72,890
セグメント 利益又は損失 (△)	2,251	△78	1,067	△53	3,186	103	3,290	△1,577	1,712

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,577百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,574百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、前連結会計年度に取得したBX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD (旧社名: ArcPac Garage Doors Pty Ltd) の取得原価の配分について、暫定的な会計処理により、のれんを計上しておりましたが、追加支払額に基づく取得原価の調整及び取得原価の配分が完了したことにより、のれんが減少しております。これに伴うのれんの減少額(償却前)は、当第2四半期連結累計期間において、1,721百万円であります。

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、新たにB Xルーテス株式会社(旧社名: ルーテス株式会社)の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額(償却前)は、当第2四半期連結累計期間においては71百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、持分法非適用関連会社であった株式会社エコウッドの株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては43百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	31,245	34,571	11,193	3,853	80,863	2,665	83,528	—	83,528
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	2,188	19	360	17	2,585	94	2,680	△2,680	—
計	33,433	34,590	11,554	3,871	83,449	2,760	86,209	△2,680	83,528
セグメント 利益	2,733	22	1,723	86	4,566	299	4,865	△1,929	2,935

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,929百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,926百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、新たにARCO(QLD)PTY LTDの株式を取得し、同社及びその子会社であるRETROTECH DOOR SERVICES PTY LTDを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては309百万円であります。